

(別添7)

事業所名 グループホーム陽

2 目標達成計画

作成日 平成27年 5月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の記録と実践について 個別に目標の記録を行っているが、入居者の方が長くなると変化がなくなっている。	個別ケアの充実と実践。	個別に担当職員がモニタリングを行う。それを基に個別に出来る事を考え、カンファレンスを開き、個別ケアについて考え、実践する。また、生活リハビリに取り組み生活にリズムをつくる。	12ヶ月
2	36	一人ひとりのプライバシーの確保。人権の尊重する。言葉かけについては常に意識し、対応に十分に注意をしていく。	一人ひとりのプライバシーの確保と人権の尊重に努める。また、言葉かけについては常に意識する。	一人ひとりのプライバシーの確保と人権の尊重についての勉強会を行う。また、外部である虐待の研修会に参加し、部署内で勉強会を行う。言葉かけについては職員間で連携、意識し取り組みます	12ヶ月
3	43	入居者の方はトイレでの排泄を行っているが、介護度も高くなり、失禁も多くなっている。また、尿意、便意がない入居者の方も半数程になっている。パットの使用量も増えている。	排泄における個別ケアの充実。	一人ひとり個別の排泄パターンを知る。排泄パターンに合わせて排泄介助を行い、パット、リハビリパンツの使用量を減らす。トイレでの排泄を行くように努める。	12ヶ月
4	49	介護度が高くなっていることから、外出がだんだん少なくなっている。どのようにして支援するかが課題。	外出することで地域とふれあい、楽しく生活する。	家族に協力をお願いし、買い物、美容院や行事等に出かけるように支援する。ボランティア等に協力を依頼し地域の行事に出かける。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。